



PINK RIBBON
CAMPAIGN

無料乳がん検診（マンモグラフィ検査）実施します！

がん検診受診率向上のためのキャンペーンとして、無料乳がん検診をがん患者支援イベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2022ぐんま」の会場で実施します。受診を希望される方は、下記までお申込みください。

.....

日 時：2022年10月8日（土）13：00～16：00

場 所：ALSOK 群馬総合スポーツセンター（前橋市関根町 800）
アイスアリーナ付近 乳がん検診車内
※リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2022 ぐんまの会場で実施します。

申込方法：別紙の注意事項をご確認のうえ、下記まで電話でお申し込みください。
※注意事項の項目にひとつでも当てはまる方は受診できません。
※40歳未満の方は受診できません。

(公財)群馬県健康づくり財団総務部企画広報課
TEL 027-269-7820・7403

申込期間：8月1日（月）～9月30日（金）

申込から受診までの流れ：

- ①電話申込みの際に受診時間を決めさせていただきます。
また、住所・氏名・年齢・連絡先等をお伺います。
- ②受診票を郵送しますので、あらかじめ記入をお願いします。
- ③当日、受診票を持って会場へお越しください。

そ の 他：・先着で40名までとさせていただきます。
・受診料は無料です。（(公財)日本対がん協会が発行する無料クーポン券を利用します。）

現在、日本人女性が生涯で乳がん罹患する確率は10.6%と言われ、罹患数は増加の一途をたどっています。がん対策には定期的ながん検診受診による早期発見・早期治療が大切です。

【注意事項】

下記に当てはまる場合は、マンモグラフィ検診を受けることができません。
お申し込みの前に必ずご確認ください。

① 6ヵ月以内に乳房にしこりや異常な乳頭分泌物などの自覚症状のある方

・上記のような症状のある方は再検査になる可能性が高いため、早期に医療機関を受診していただき、適切な検査（マンモグラフィだけでなく、視触診・エコー検査・細胞診検査・組織検査など）を受けていただくことをお勧めします。

② 妊娠の可能性のある方・妊娠中の方

・マンモグラフィの撮影にはX線（レントゲン）を使用するため、胎児に影響を与える可能性がゼロとはいえません。

③ 出産後2年以内の方・授乳中又は断乳直後で乳汁分泌がある方

・乳腺が発達しているため、乳房全体が白く写り、マンモグラフィ検診の判定に必要な情報が得にくくなってしまいます。（マンモグラフィでは、乳腺は白く写り脂肪は黒く写ります。）

・乳汁等の分泌物により、撮影装置が故障する可能性があります。（故障した場合、その後の検診が続行不可能になります。）

④ 10年以内に乳がんの既往のある方

・温存手術をした場合、その後のマンモグラフィ画像に、ねじれ、ゆがみ、などが出てしまうためマンモグラフィ検診の判定ができません。

・乳房切除をしている方は、対側との比較ができません。

※手術をされた方は手術をした医療機関でマンモグラフィを撮影し、術後のマンモグラフィと比較していただくことをお勧めします。

⑤ 乳腺疾患（乳腺症・線維腺腫・のう胞・微小石灰化 等）があり医療機関で治療・経過観察中の方

・集団検診の場合、以前のマンモグラフィと比較することが出来ず、再検査の可能性が高くなり二度手間になる可能性が高くなります。

・すでに診断がついている方は、主治医を受診することにより以前の資料との比較ができ、治療等が速やかに進みます。

⑥ ペースメーカーと植え込み型除細動器を挿入されている方

・内外斜位（斜め）方向撮影は直接ペースメーカーにX線（レントゲン）が照射されるため、不具合が起きる可能性があります。

- ・乳腺を引き出したり、広げたりする過程でペースメーカーを挟み込んだり、ペースメーカーの位置がずれたりリード線に支障をきたす恐れがあります。

⑦ 脳室一腹腔シャントが造設されている方

- ・乳腺を引き出したり、広げたりする過程でチューブを挟み込んだり、チューブの位置がずれたり、破損したりして治療に支障をきたす恐れがあります。

⑧ 豊胸手術（脂肪注入・シリコン注入・シリコンバッグ）をしている方

- ・乳房内留置バック（内部のシリコンや生理食塩水など）を破損する可能性があります。
- ・周辺の乳腺を広げて撮影できないため、マンモグラフィ検診の判定に必要な情報が得にくくなってしまいます。

⑨ 前胸部静脈ポート留置をしている方

- ・乳腺を引き出したり、広げたりする過程でチューブ（カテーテル）を挟み込んだり、チューブ（カテーテル）の位置がずれたり、破損したりして治療に支障をきたす恐れがあります。

⑩ 胸部外傷（肋骨骨折・打撲等）があり、外傷による痛みなどの症状がある方

- ・外傷による痛みなどの症状があると周辺の乳腺を広げて撮影できないため、マンモグラフィ検診の判定に必要な情報が得にくくなってしまいます。
- ・症状を悪化させる恐れがあります。

⑪ 極度に背骨が湾曲している方

- ・乳房を挟むことができないため、マンモグラフィの撮影ができません。

⑫ 独歩不能（真っ直ぐに立っている事が出来ない方）

- ・マンモグラフィ撮影時には、一人で立ち、一定の体勢を維持していただく必要があるため撮影ができません。